



令和 7 年 8 月 29 日
健康福祉部疾病対策課
043-223-2574

感染症予防のための情報提供について

病 名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）		
住 所	市川市	年齢・性別	20 代・女性
職 業 等	大学生	症 状 等	腹痛、下痢、血便、発熱、溶血性貧血、急性腎不全、溶血性尿毒症症候群（HUS）
発病年月日	令和 7 年 8 月 6 日	届出年月日	令和 7 年 8 月 21 日

市川市在住の 20 代の女性が、腹痛、下痢等の症状を呈し、市川市内の医療機関 D に入院した。その後、浦安市内の医療機関 E へ転院し、腸管出血性大腸菌感染症及び溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断され、市川保健所に発生届が提出された。

なお、現在、患者は入院中であるが、快方に向かっている。

【患者発生の経過】

- 8 月 6 日 夜から下痢症状が発現。
- 8 月 7 日 市川市内の医療機関 A を受診。
脱水症状があり、市川市内の医療機関 B を受診。
- 8 月 8 日 市川市内の医療機関 C を受診。
症状が改善せず、市川市内の医療機関 D を紹介受診し入院。
検便を実施したが陰性。
血小板減少や溶血性貧血、急性腎不全など HUS が疑われる症状あり。
- 8 月 12 日 浦安市内の医療機関 E へ転院。
検便を再度行ったが O157 の培養検査は陰性。
国立健康危機管理研究機構で検査するため、検体（血清）を採取。
- 8 月 21 日 検体中から O157 凝集抗体が検出。
医療機関 E から腸管出血性大腸菌感染症の発生届が提出。

【県民の皆様へ】

今年は過去 5 年間と比べて、腸管出血性大腸菌感染症の増加傾向が見られています。

- 調理や食事の前、動物や土に触った後には、必ずせっけんを使用して十分に手を洗いましょう。
- 細菌が残っている場合があるため、肉を食べる場合は、中心部まで十分に加熱したものを食べるようにしましょう。また、「生肉を扱う調理用の箸やトング」と「焼けた肉を扱う食事用の箸やトング」とを必ず分けましょう。
- 溶血性尿毒症症候群（HUS）など非常に重症な状態になる場合もありますので、生肉等を食べた後、下痢、血便等の症状がみられた時は、早めに医療機関を受診し、その旨を医師に伝えましょう。
- 社会福祉施設、介護保険施設、学校等においては、日頃から職員、施設利用者等の健康管理に注意しましょう。

【参考】

腸管出血性大腸菌感染症とは

1 感染経路

- ・腸管出血性大腸菌は牛など家畜の腸管内にすることがあり、その糞便で汚染された食品や、糞便で汚染された場所を触った手指から経口的に感染する。

2 腸管出血性大腸菌とは

- ・大腸菌の中にはベロ毒素を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群（HUS）を起こす腸管出血性大腸菌と呼ばれているものがある。代表的なものは「腸管出血性大腸菌 O157」で、そのほかに「O26」や「O111」等が知られている。

3 潜伏期間

- ・3～5 日がもっとも多い。

4 症状

- ・腹痛、水様性下痢、血便
- ・嘔吐、38℃台の高熱
- ・重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS*）になる場合もある。

*HUS とは

溶血性貧血、血小板減少、急性腎障害の3主徴をもって診断する。一般に HUS は腸管出血性大腸菌感染症の患者の約 1～10%に発症し、下痢あるいは発熱出現後 4～10 日に発症することが多い。

5 治療

- ・対症療法
- ・脱水に対する処置（補液など）

6 腸管出血性大腸菌感染症の年別届出数（括弧内は HUS の発症者数）

	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年※
千葉県	131(2)	149(3)	154(3)	183(6)	143(2)
全 国	3,236	3,352	3,811	3,748	2,246

※千葉県分は1月1日～8月28日までの累計(本件を含む)。全国分は2025年第34週現在。

※現在調査中の患者も含んでいるため、今後数値が変動する可能性あり。